

11月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年11月末現在]

平成30年12月12日
茨城県中小企業団体中央会

前月が全体的に大幅に改善したことに加え、原材料の価格上昇や需要停滞等により、すべての数値が悪化した。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。非製造業でも、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。

景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-11.5ポイント、非製造業は、前月比16.7ポイント悪化の-25.0ポイント、全体では、前月比12.0ポイント悪化の-18.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比11.6ポイント悪化の3.8ポイント、非製造業は、前月比29.2ポイント悪化の0.0ポイント、全体では、前月比20.0ポイント悪化の2.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-7.7ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント悪化の-20.8ポイント、全体では、前月比10.0ポイント悪化の-14.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	米飯給食の増加により、県内各地でパン給食の回数減がみられた。地場産米が収穫できる地域は、地産地消を推進し米飯を優先させていることが要因のひとつである。
	餡	
	味噌	暖冬のため需要の停滞が続いており、厳しい収益状況が継続している。
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県の課税移出数量は、10月は前年同月比99.3%と前年同月に迫る実績となり、全国平均(94.1%)を上回った。焼酎においても、10月の課税移出数量は95.1%と上向いている。また、輸出免税数量は過去数ヶ月一桁台の伸びであったが、10月は前年同月比115.1%と伸び率が上昇傾向にある。 また、清酒製造業の経営面から見た業績は、過去十数年来数量・売上が落ち込んでいた。だが、平成29年に至り清酒事業の売上高は前年比1社当たりの営業利益は670万円で1社当たり110万円増加となり、欠損企業及び低収益企業(税引前当期純利益50万円未満)ともに減少した。 ○県内当業界について 第89回関東信越国税局酒類鑑評会の受賞蔵元が発表となり、11月7日に同局において表彰式が行われた。当県の受賞率(出品数対比)はトップとなり、かつ本年は吟醸酒の部においては特別賞が1社、部門別受賞合計20社と好成績を収めた。また、平成30年度茨城県清酒鑑評会の成績発表及び知事(部門賞他)の表彰式が11月21日に行われた。結果は、吟醸酒の部・純米吟醸酒の部ともに、知事賞(金賞)各1社・部門賞(銀賞)各2社・銅賞2部門計10社が受賞した。
	納豆	前月に続き、納豆の消費量は増加しているが、土産物の販売については低調。今後の国産大豆の価格がどうなるのか、上昇するのではないかと不安である。また、輸入大豆(アメリカ、カナダ)においても遺伝子組み換え大豆生産者が減少しているため、価格が上昇傾向にあり先行きが不安である。 人手不足は相変わらずで、求人を出しても応募がなく厳しい状況である。
	菓子	消費者の購買力はやや改善傾向にあるようである。菓子業界だけかもしれないが進物の需要が減少している。
繊維工業	織物	
	袋物	業務量が増加してきている。年内の納期に追われる会社もあり、組合内で受注配分を調整したい。
	衣服	
木材・木製品	製材	国産材製品の荷動きは、プレカット工場向けを中心に前月に比べて上昇した。一方、工務店の新築・リフォームの受注は限定的なため、製品市場では需要の増加をあまり実感できない状況である。 国産材原木は、品薄感が強まり値上がりが続いていることから製品の値上げを行うところもあるものの、需要が上向いたとはいえ秋需要と呼ぶには盛り上がり欠けている。
	県北地区プレカット	前月の活気が続き、生産はフル稼働状態であった。 材料の供給に時間がかかり、入荷次第加工を行っていたため慌ただしい状況であった。 12月も受注量はすでに確保済みである。
	県央地区プレカット	大型物件が重なった関係もあり生産が間に合わないこともあったが、発注先に説明してなんとか日程の調整を行うことが出来た。 12月も忙しい状況は続くと思われる。 受注量が増加しているので早急に人員の確保に努めたいが、人材が集まらない状況。
紙・紙加工品	段ボール	前年に続き、中国への段ボールの古紙輸出増加により、国内の古紙が不足し、仕入価格が上昇している。この状態が続くと、収益悪化は避けられない状況である。
印刷	総合	大きな変化はないが、製品単価の低下や価格引上の困難な状態、需要の停滞等、業況の低迷状態は続いている。
化学・ゴム	自動車部品	前月に続き、売上は増加傾向にある。
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	秋のイベント等、一年を締めくくる行事が続いたが、来場者数や売上は伸び悩んだ。消費者の買い控え感が否めないため、さらなる工夫を行い、需要を喚起する必要がある。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	受注量は、11月前半は前年度並みだったが、後半は10~15%程度下降し、11月は全体で若干の減少であった。この傾向は12月の景況にも影響が出そうである。 金属材料は、亜鉛・ニッケル・貴金属等、全般に上昇傾向である。工業製品については大きな変動は無く前月並みの水準である。 石油・ガソリンなど、燃料費が上昇している。
	鑄造	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比で全て増加となり、全体増減率は107%であった。輸出向け及びエンジン部品の生産は引き続き好調を維持。国内向け農機部品メーカーの組合員もサービス部品の受注が増え、なんとか増収を計上できた。輸出環境の悪化が懸念される状況にあり、組合員の先行きの警戒感が高まっている。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	
		輸送車両	
その他の製造業			
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比で2.15%増加となった。売上は若干伸びたものの、魚価が高値で推移しているため、物量は減少している。月末にかけて、年末商材の入荷があり、在庫は若干増加し始めた。
		県南地区卸	組合員の1社が2020年の7月に営業を撤退することが決まった。
		食品卸売業	取扱高は、野菜・果実合計で前年同月比80%となった。野菜に関しては、台風の影響を受けて品不足感のあった10月までと一転して、安定した天候により出荷が順調となり、前年と比べて大幅な単価安となった。12月も引き続き単価安で推移する見込み。果実に関しては、りんご・柿などに台風の影響が見られるが、全体としては順調な出荷となっている。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比で4.5%の減少となった。過去6ヶ月の累計減少幅は8.6%であったものの、11月は県北地区に特需が発生し、減少幅が縮小した。
	小売業	県北地区共同店舗	七五三シーズンのため着物と写真スタジオの売上が伸び、全体での売上は前年同月比109.2%であった。また、100円ショップの来客数が多かったため、客数は前年同月比138%であった。
		県央地区共同店舗	前年同月比で、売上は92%、客数は98%であった。食料品は前年同月比を確保しているが、衣料品は退店や天候で重衣料が伸びないなど苦戦している。
		県南地区共同店舗	イベント・催事効果もあり、飲食の売上が前年同月比105.8と好調であった。文化品の売上についても、一部売場変更、レイアウト変更等の効果もあり、前年同月比141.5%であった。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	夏商戦は、天候不順も重なり猛暑となったため好調であったが、秋商戦の10~11月は、通年と異なり商売の展開が崩れ、結果として不調となった。12月の年末商戦では、4K・8Kの認知度も特番などで高まりつつあるため挽回を期待したい。
		石油	原油価格は、前月比では値下がりしているものの、前年同月比では18円上昇している。売上高は微増傾向にあり、仕入価格が下落気味のため収益状況はやや改善している。
		農機具	
	中古自動車	車両販売価格は前年同月比96.5%、販売台数は同98.5%、平均販売単価は同97.9%であり、前年同月比では大きな変動はなかった。	
	商店街	水戸	
筑西		原因は分析中であるが、売上減少の店舗が目立つ。	
建設業	総合	工事入札は最低制限価格を争う状況が続いている。最低制限価格は正確な積算をした上でランダム係数を用いるためその金額を確定することはできない。そのため各社は常に最低制限ギリギリの価格で入札を繰り返し、場合によっては同時に複数落札する業者もあれば、本年度全く落札できない業者もある。落札できたとしても、当然ながら利益は少ない。	
	電気工事		
	管工事		
	交通安全施設		
	鉄筋工事業		
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が104.0%、軽自動車が99.0%となり、普通車は微増となったが、軽自動車は前年並みであった。	
	ホテル・旅館	地域差は多少あるものの、売上は宿泊・宴会ともに微減となったが、一方で、秋のイベント(もてぎGP、菊祭り、大洗舞祭、大洗あんこう祭)や真言宗三派の合同大会等により、価格設定を上昇したが宿泊需要の伸びがみられた。前年は、勤労感謝の日が飛び石連休であったが、今年は三連休だったことも集客増につながった。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	11月の組合員数は117名、車両台数は150台で9月と比較して増減がなかった。 また、全国連合会での10月の組合員数は8,181名、車両台数は9,669台で10月と比較して16名減少、17台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の出荷物量は先月に続き低調気味となり、年末にかけて例年出荷物量は若干増加傾向にあるものの売上高は横ばいであった。また、燃料価格は不安定な状況が続いているため収益を圧迫している。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	日本酒振興のための広報事業と若手杜氏の育成事業に今後とも協力いただきたい。
	パン	パン給食の増加要望
小売業	石油	摘発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	入札制度以外の制度がほとんどない状態で入札制度もその制度内でいろいろと改正が行われてきたが、制度が複雑になりすぎてきたように思う。時間はかかるだろうが入札制度を根本的に見直すことが必要だと思う。

月次景況調査 11月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比	11月	10月	前月比
景 況	▲ 18.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 16.7
売 上 高	2.0	22.0	▲ 20.0	3.8	15.4	▲ 11.6	0.0	29.2	▲ 29.2
収 益 状 況	▲ 14.0	▲ 4.0	▲ 10.0	▲ 7.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5
販 売 価 格	4.0	12.0	▲ 8.0	7.7	11.5	▲ 3.8	0.0	12.5	▲ 12.5
取 引 条 件	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 3.8	▲ 3.8	0.0	▲ 4.2	▲ 4.0	▲ 0.2

中小企業月次景況調査(平成30年11月)DI値(前年同月比)

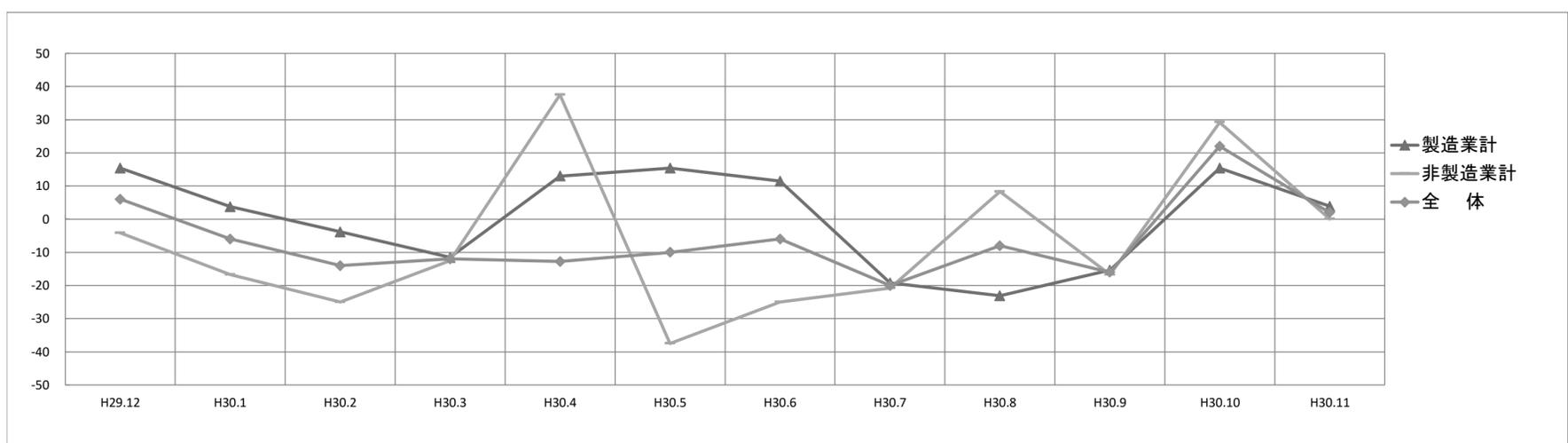
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	16.7	2	3	1	6	△ 33.3	0	4	2	6	33.3	2	4	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	50.0	3	3	0	6	0.0	0	6	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	16.7	2	3	1	6
	繊維工業	33.3	1	2	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
製造業計	3.8	6	15	5	26	△ 15.4	0	22	4	26	7.7	4	20	2	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 7.7	3	18	5	26	0.0	1	24	1	26	7.7	4	20	2	26	0.0	2	22	2	26	△ 11.5	3	17	6	26	
非製造業	卸売業	0.0	2	0	2	4	50.0	2	2	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	1	2	1	4						0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4
	小売業 (商店街含む)	9.1	4	4	3	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 36.4	1	5	5	11	△ 36.4	0	7	4	11						△ 18.2	0	9	2	11	△ 45.5	0	6	5	11
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2						0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5						0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	
	運輸業	50.0	1	1	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2						0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	
	非製造業計	0.0	7	10	7	24	6.7	2	12	1	15	0.0	3	18	3	24	△ 4.2	1	21	2	24	△ 20.8	3	13	8	24	△ 12.5	2	17	5	24						△ 8.3	0	22	2	24	△ 25.0	1	16	7	24
全体	2.0	13	25	12	50	△ 7.3	2	34	5	41	4.0	7	38	5	50	△ 4.0	2	44	4	50	△ 14.0	6	31	13	50	△ 6.0	3	41	6	50	7.7	4	20	2	26	△ 4.0	2	44	4	50	△ 18.0	4	33	13	50	

D I 値推移表 (H29.12月 ~ H30.11月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	16.7	0.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 25.0	20.0	0.0
製造業計	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	15.4	3.8
卸売業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0	0.0	▲ 50.0	50.0	0.0
小売業(商店街含む)	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	18.2	▲ 18.2	45.5	9.1
サービス業	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 20.8	8.3	▲ 16.7	29.2	0.0
全体	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 16.0	22.0	2.0

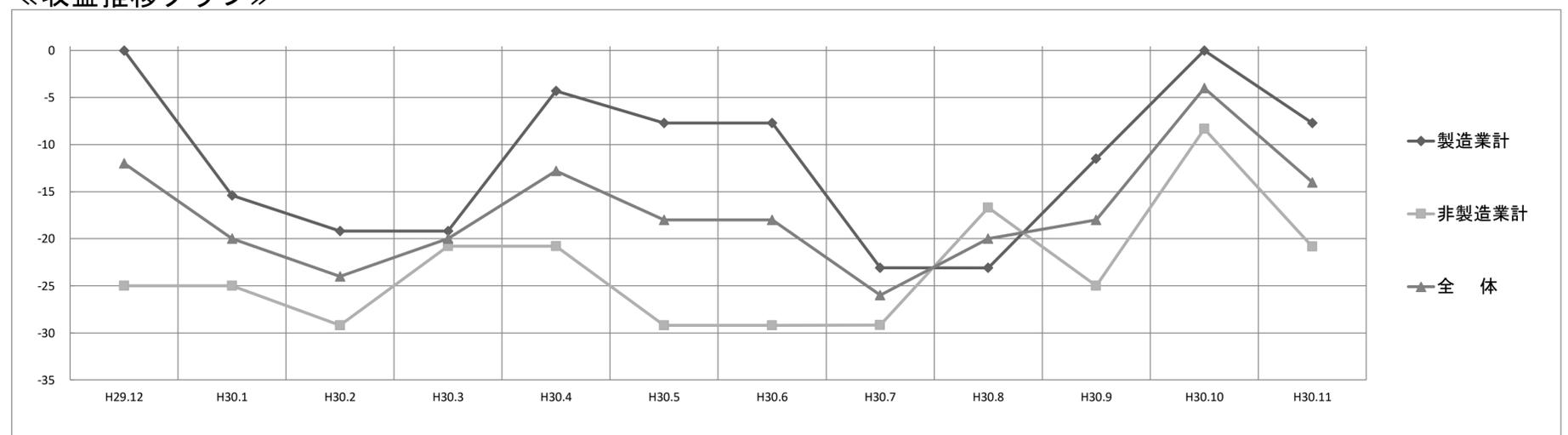
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11
食料品製造業	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	16.7	33.3	50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 25.0
製造業計	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 11.5	0.0	▲ 7.7
卸売業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 36.4
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 20.8
全体	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 26.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 4.0	▲ 14.0

《収益推移グラフ》

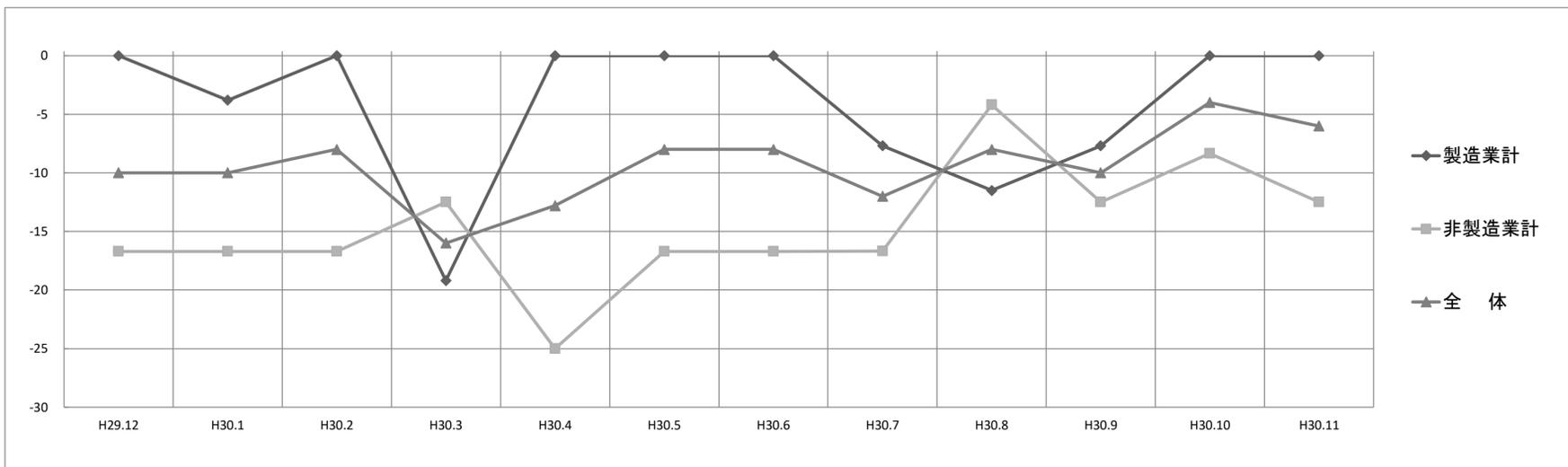


D I 値推移表 (H29.12月 ~ H30.11月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11
食料品製造業	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	0.0
製造業計	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0	0.0
卸売業	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5
全体	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 6.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	▲ 16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 11.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 45.5
サービス業	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 25.0
全体	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 6.0	▲ 18.0

《景況推移グラフ》

